とよの議会だより

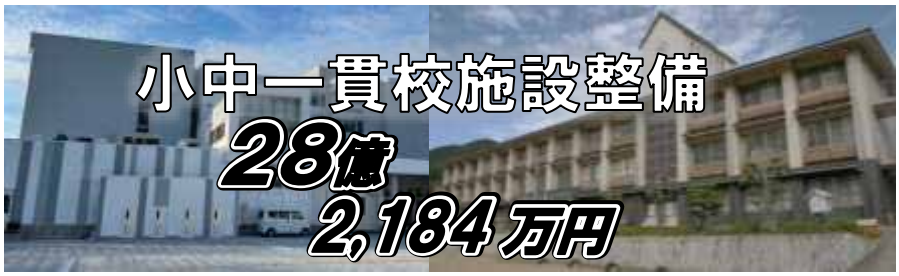
第159号
2026年
令和8年10月25日発行

決算審査

令和７年度の決算を６名で審査しました



一般会計歳出
109億9,661万円



小中一貫校施設整備
28億2,184万円



自転車駐輪場



ふるさと納税



ユーベルホール



家屋除去補助
住宅流通・多様化促進

二次元コードを読み取り、議会だよりの感想・ご意見をお願いします



牧地区ほ場整備



高校生通学費補助

●発行/大阪府豊能町議会　●編集/議会広報特別委員会　●TEL　072-739-3430　FAX　072-739-1616

2日目　1日目

令和８年度 決算特別委員会

■二次元コードから決算特別委員会の動画を視聴できます。視聴に伴う通信料は自己負担です。

９月14日・15日

令和７年度一般会計決算

令和7年度の一般会計歳入は119億747万円で、前年度に比べて33・1％増となり、歳出は109億9661万円で31・2％増となっています。

歳入から歳出を引き、さらに翌年度へ繰り越すべき1億4114万円を差し引いた実質収支は7億6972万円の黒字となり、前年度に比べ47・7％増となっています。また、町の財政構造の弾力性を示す経常収支比率は90・2％となり、令和6年度の96・4％と比べ6・2ポイント減となりました。



総務部

問 デマンドタクシーの利用状況は。

答 特にバス路線の廃止があった東地区において、利用が大幅に増えており、代替交通として利用いただいていると考えています。

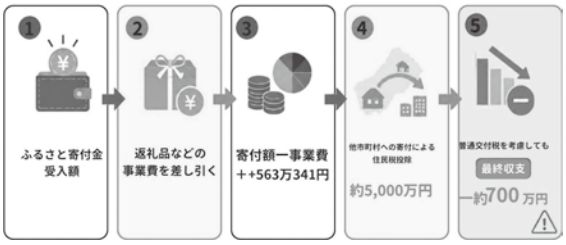
問 空き家バンクの登録物件の多くが住居で、事業者の問い合わせが多いと聞いている。需給のずれの具体的な内容は。

答 需給の不一致に関しては、古民家に対する問い合わせが多い。

補助金を活用して住宅の流通を促進させ、市場に出回る物件を増やしていきたいと考えています。

問 ふるさと寄附金から返礼などの経費を差し引いた収支は。

答 寄付額から事業費を差し引くと約563万円ですが、町民が他市町村へ寄附した税額控除が約500万円。普通交付税を考慮しても約700万円の赤字です。



生活福祉部

問 こども総合支援センター設置に向けてどこまで進んでいるのか。

答 現状はプロジェクトチームを立ち上げ、設置の方向で検討しています。今後の西地区公共施設再編も考慮して、集中型ではなく分散型を考えています。

都市建設部

問 ときわ台駅前の自転車駐輪場は、時期や天候によっては混雑しているが改善するのか。

答 第2自転車駐輪場の案内もしていますが、屋根を付けるなど引き続き検討していきます。

問 自転車駐輪場には地代がかかっている。使用料をとる予定はないのか。

答 有料化について検討しましたが、機械の導入費用や維持管理コストなどを考慮すると、採算がとれない状況です。



問 牧地区のほ場整備事業は、令和7年度に完了して令和8年度に換地すると聞いていたが、予定通り完了するのか。

答 牧地区については、昨年度大阪府で事業計画を変更し、令和9年度事業完了を目指しています。

問 高山地区のほ場整備の状況は。

答 高山地区についても昨年度、事業計画を変更しており、現在令和10年度の事業完了に向け進めています。



問 飼い犬登録事業では、狂犬病予防注射を受けても町に届けを出さない飼い主がいるとのことだが。

答 予防接種したのに届け出しない方には、毎年9月下旬に督促して環境課に届け出をお願いしています。

こども未来部

問 スマートシティ事業のｏｔｔａ（オッタ）見守りシステムの利用実績が少ないように感じる。ｏｔｔａを今後も継続していくのか。

答 見守りシステムの利用ニーズについては、新入生に対して案内を送付し、一定の申し込みがありました。

ｏｔｔａは、現状のミマモルメと類似していますが、目的が異なっているため保護者に、両システムを理解していただけるよう丁寧に案内していきます。

問 高校生通学費補助事業について、８００万円の予算に対して実績額が約半額となっているが。

答 令和8年3月末、高校生の年齢に該当する人口２９５名に対して１９０名の申請がありました。

問 奨学資金返済の滞納者について、どのように対応しているのか。

答 令和7年度末時点では滞納者は16名で、長期滞納者は4名です。

滞納者16名のうち12名は、分納計画を立てて返済していただいています。

長期滞納者については、文書での通知、訪問して返済計画を作成して返済を促すなどの対応を行っています。

問 英語検定受験料の補助を行なっているが、合格の状況は。

答 令和7年度の受験者数は１０８名であり、合格率は受験する級によって異なりますが、全体で50％になります。

問 学習意欲の向上につながっているのか。

答 英語検定3級は中学校卒業程度ですが、子どもたちが自分の力を試す意味で3級以上にチャレンジできることで、意味のある取り組みと考えています。

問 ユーベルホールのロビーコンサートが年々観客数が減少しているようだが、今後も継続していくのか。

答 ロビーコンサートは主に土曜日に開催しています。出演者によって観客数に差がありますが、一定数集まっています。

気軽に聞けることや、舞台音響も入ることで、本番さながらの空気を味わえるので利用者の満足度は高いと思います。

（全員賛成　認定）

令和７年度特別会計等決算

国民健康保険特別会計

問 保険料滞納者への対応はどのように行っているのか。

答 滞納者に対しては、督促状を送付して、必要に応じて催告書を送付しています。その後、納付がない場合、納付相談の機会を設けています。

納付困難な事情が考慮される場合は減免措置を行い、生活困窮等がみられる場合は各関係部署につないでいます。

（全員賛成　認定）

国民健康保険特別会計診療所

問 常勤の内科医を確保するためにどのように取り組んでいるのか。

答 現在勤務している非常勤医師からの紹介や、若手医師が集まる学会等で話をしてもらうなどしています。

また、町や国民健康保険診療所の協議会のホームページに募集記事を掲載するなどして医師の確保に努めています。

（全員賛成　認定）

後期高齢者医療特別会計

（全員賛成　認定）

介護保険特別会計

問 介護認定調査員の高齢化が課題であるとしているが、現状の人員では対応できないのか。

答 認定に係る申請から結果まで国の基準では1ヶ月程度が目安ですが、本町においては40日程度要しており、かろうじて対応している状況です。

認定調査を業務委託することもありますが、大阪市など委託費用が高額となり、全部を委託することは困難です。

問 現状、介護サービスは行き届いているのか。

答 事業所からの聞き取りでは、サービスの待機や、受けたいサービスが受けられない、事業所が近くになくて困っているなどの意見は聞いていません。

今後、対象者が増えることが予想されますので、受けたいサービスが受けられるように、第10期豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に取り入れていきたいと考えています。

（全員賛成　認定）

下水道事業会計

（全員賛成　認定）

決算特別委員会

委員長　小寺正人
副委員長　髙野光一
委員　西　美江
内田香織
中川敦司
管野英美子

９月定例会議報告

9月7日～9月25日

報告			
８号報告	専決処分の報告 （令和８年度一般会計補正予算）	台風７・８号の影響による大雨により光風台６丁目の緑地法面が崩落。そのための応急復旧の費用です	
９号報告	令和７年度一般会計予算継続費精算報告書報告	小中一貫施設整備事業、西地区整備工事の継続費精算報告です	
10 号報告	健全化判断比率及び資金不足比率報告	「健全化比率について実質赤字比率はない」「下水道特別会計についても資金不足は生じていない」との報告がありました	
補正予算			
56 号議案	令和８年度 一般会計補正予算（第３回）	高山コミュニティセンター拠点整備への国庫補助金、西地区認定こども園設置等の費用です	全員賛成 可決
57 号議案	令和８年度国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第２回）	出産育児一時金の給付に係る費用等です	全員賛成 可決
58 号議案	令和８年度介護保険特別会計事業勘定補正予算（第２回）	事業費確定に伴い、国・府へ償還金を支出するものです	全員賛成 可決
60 号議案	令和８年度 一般会計補正予算（第４回）	６月末以降の大雨により崩落した、戸知山排水路の応急復旧にかかる費用です	全員賛成 可決

令和７年度決算認定６件の概要は、Ｐ２～Ｐ３に掲載しています

９月定例会議で賛否の分かれた案件

（○：賛成　×：反対）

	件　　名	議決結果	西　美江	内田　香織	林　和利	髙野　光一	池田　忠史	才脇　明美	中川　敦司	寺脇　直子	管野英美子	えなみけい	小寺　正人	秋元美智子
２号認定	令和７年度国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○
５号認定	令和７年度介護保険特別会計事業勘定歳入歳出決算	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	－	○	○

＊全員賛成の件名については、紙面の都合上、省略している。
＊議長（えなみけい）は、職責により、採決に参加していない。

人事

第55号議案
固定資産評価審査委員会委員
小倉（おぐら）　巖（いわお）さん（東ときわ台）
を選任同意しました。

第59号議案
教育委員
小松（こまつ）　郁夫（いくお）さん（京都市左京区）
を任命同意しました。

討論

反対　髙野光一

第２号認定令和７年度国民健康保険特別会計
大阪は日本一高い保険料だ。物価高が住民を苦しめている今、保険料が安くなる制度を求める。

第５号認定令和７年度介護保険特別会計
介護保険準備基金が10億円を超えている。これを活用して保険料を引き下げるべきだ。

当選

地方自治法の規定により指名推選いたしました。

選挙管理委員
中田（なかた）　稔（みのる）さん（希望ケ丘）

選挙管理委員補充員
山﨑（やまざき）　明夫（あきお）さん（余野）
西崎（にしざき）　繁（しげる）さん（ときわ台）
馬渡美保子（まわたりみほこ）さん（東ときわ台）
高木（たかぎ）　満子（みつこ）さん（光風台）
新谷（しんたに）　芳宏（よしひろ）さん（切畑）
中村（なかむら）　孝夫（たかお）さん（新光風台）
西野（にしの）　方庸（まさのぶ）さん（高山）

総務建設常任委員会

9月10日開会
委員6名全員出席

一般会計補正予算（第3回関係部分）

問 高山コミュニティセンターの体育館の改修など、法的にクリアできるのか。

問 高山コミュニティセンターの指定管理であるヤンマーシンビオシスへの国からの補助金の内容は。

答
直売所、カフェ等の旧校舎棟の施設改修 ―― 約1億4000万円
交流広場、バーベキュー施設等 ―― 約3000万円
フェンス、植栽等の外構工事 ―― 約2000万円
太陽光発電施設 ―― 約600万円



すべての工事が来春のオープンに間に合わないと思うが、来年度以降も交付金はあるのか。

答 来年度、町の規制緩和のルール、提案基準Bを活用して、体育館を工場に用途変更する開発許可をとるように進めています。

また、補助事業の計画期間は、3年計画で、令和8年度から令和10年度までの3年となっています。令和8年度には主に旧校舎棟の改修、令和9年度には体育館の改修、10年度には農業体験用ハウスなどの整備を行う予定です。

問 自治会運営事業における切畑自治会館と牧公民館のLED照明灯改修工事だが、96万1000円の補助金の内訳は。

答 切畑自治会館は、52万7000円で、牧公民館は、43万4000円です。建物内や駐車場などの照明を交換する工事補助金になります。

（全員賛成　可決）

福祉教育常任委員会

9月11日開会
委員6名全員出席

一般会計補正予算（第3回関係部分）

問 国の交付金の対象である祥雲館の修繕の内容は。町の負担はあるのか。

答 天井空気清浄機の取替え・トイレ等の改修・引き戸等の建具改修・クロス張替えなどを行います。町の負担はありません。

問 ユーベルホールについて空調設備の修繕など、さまざまな修繕箇所が発生している中で、長期的な修繕計画等はあるのか。

答 大規模修繕については、西地区公共施設再編の動向との兼ね合いもあるため、今後検討していきます。現在は緊急的な箇所の修繕を行っていますが、保守点検の際に修繕箇所を把握して、修繕、予防も含めて検討していきます。



問 西地区認定こども園設置事業の内容は。国・府の負担は。

答 今回、建物や外構の工事ではなく、敷地の整備に関わる設置費用であるため、国・府の負担はありません。

問 今後の工程は。

答 今年2月に運営法人の選定委員会で、法人候補者を決定し、現在仮協定を締結しています。

今後については、土地の造成に係る設計・土地の用途廃止・開発工事を経て、令和11年4月の開園を目指しています。

問 認知症施策推進事業において、当事者及びその家族が地域活動を続けていく支援体制づくりを進めていくとあるが、実際に介護者などに意見を聞くことはあるのか。

答 現在、社会福祉協議会と実施している当事者や家族が交流できる「あまなつ」において聞き取りを行うことを検討しています。

（全員賛成　可決）

国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第2回）

（全員賛成　可決）

介護保険特別会計事業勘定補正予算（第1回）

（全員賛成　可決）

一般質問 9月8日～9日

（議員本人の提出原稿に基づいて掲載しています）

町政の諸問題を問う



安心して暮らすことができる町に



秋元　美智子

家庭ごみ ステーション方式の負担軽減を

問 新光風台・旧村地域は、家庭ごみを自宅から離れたボックスまで持っていくステーション方式となっており、病気やケガ、体力や筋力が衰えた人にとって大きな負担となっている。

現在、助けを必要としている人のごみを個別に回収できないか。

答 全地区を一括して個別収集方式へ変更することは車両、人員、道路事情などから困難なため、現在、他自治体の先進事例や国の高齢者等のごみ出し支援制度導入など参考に、ごみ出しが困難な高齢者や障害者等を対象とした個別収集の制度導入に向けた検討を進めているところです。



ステーション方式　自宅から遠い人も

万が一の災害関連死に備えて　早急に設置を

問 豊能町は、災害犠牲者の遺族に対して、直接死、関連死を問わず、最大５００万円の弔慰金を支給すると条例で定めている。

ただし関連死は、医師や弁護士などの有識者で構成する審査会がなければ関連死と認定することが非常に難しいことから万が一に備え、町には、２回にわたって審査委員会の設置を求めてきた。

国も、都道府県に対して各市町村に協力支援するよう通知している。大阪府との話し合いはどこまで進んでいるのか。

答 制度の運用や広域的な審査の可能性など問い合せていますが、医師会をはじめ関係団体との具体的な協議までには至っていないのが、現状です。

制度と現実 その隙間を問う



さいわき　明美

市街化調整区域の規制内容の周知について

問 市街化調整区域と知らずに土地や住宅を購入し、後から建築や用途変更の規制を知るケースがある。個人間売買も含め、購入前に必要な情報が届く仕組みを強化できないのか。

答 事前周知の徹底は重要な課題と認識しています。ホームページの掲載内容を充実させ、関係部署や関係事業者と連携し、契約前に必要な情報を把握できる仕組みづくりに努めます。

小中学校におけるSNS利用について

問 グループLINE等によるトラブルは、児童生徒だけでなく保護者間や教職員にも影響する。問題が起きてから対応するのではなく、豊能町独自のSNS利用ルールやガイドラインを策定できないのか。

答 SNSを取り巻く環境は大きく変化しています。現在のガイドラインに基づき指導していますが、保護者への啓発も含め、子どもたちと一緒に本町独自のSNSルールづくりをさらに検討していく必要があると考えています。



実証運行バス　新たな交通を検証

東地区の実証運行バスを町全体への交通へ

問 実証運行バスは、利用者が伸び悩んでいる。単に乗車人数を見るのではなく、運行時間や停留所、既存交通との接続など改善し、今後の町全体の交通施策につなげるべきでは。

答 運行途中の変更は難しいため、周知を進め次の取組の参考とします。

交通施策について



すがの　えみこ

高齢者の外出支援

問 介護認定を外れて、「おでかけくん」を利用できなくなった高齢者でもさまざまな身体的な負担がある。移動手段をどのように考えているのか。

答 介助が必要な方は、自費での負担になりますが、介護タクシー・福祉タクシーがあります。また、医療機関の中に、利用者の送迎やサービスを実施している施設もあります。

通勤・通学の交通手段

問 牧・野間口などから高校に通うには、以前は、朝2便ほど、池田方面のバスがあったと伺った。路線バスが廃止になった今、朝夕の高校への登下校の交通手段はあるのか。

答 夕方の高校生の下校時間帯については、今年度から実施しています阪急バスの定期乗車券の保有者への割引制度を利用すると、1回100円でデマンドタクシーが乗車できます。

しかし、朝の時間帯は、余野に8時5分に到着する便が最も早く、登校に利用するのは難しく、課題であると考えています。

早朝・夕方以降の時間帯は、運転手の確保や乗用タクシーのピークの時間帯と重なることなどの理由から、現在の運行は、難しい状況となっています。引き続き運転手の確保、交通事業者とデマンドタクシーの増便の協議、住民共助による新たな交通手段の導入の検討など、行っていきます。



廃止の路線バス、代替手段の確保を

公約実現に向けて



たかの　光一

補聴器購入補助について

問 補助の実施に向けての予算のシミュレーションを聞きたい。

答 厳しい財政状況があり、今すぐ補聴器購入補助をするのは困難です。

近隣では実施している自治体がないことから今後の動向を注視していきます。

公共交通の充実について

問 東地区の定時定路線実証運行を行っているが、8月末までの結果は。

答 8月末時点での運行状況ですが、1日当たり7.9人、1便当たり1.1人です。目標としています1日21人、1便当たり3人を下回っています。

スマートシティ事業OZ1の裁判について

問 現状は。

答 OZ1が寄付を申し出ました1億9518万1000円のうち、入金済み額を除き1億3518万1000円が未入金となっていることに関し、豊能町は、訴訟を起こしました。

OZ1からはスマートシティ事業の継続に向けて取り組んできた費用3705万円を支払うよう求める反訴状が提出されました。



定時定路線運行車両

安心して住み続けられるまちづくり



内田　かおり

子育て世代が住み続けられるまちづくり

問 移住就職応援支援金・Uターン奨励金・結婚新生活応援支援金など、若い世代を対象とした様々な支援制度があるが、交付件数、交付額は。

答 子育て世代は5件で150万円・若年夫婦は1件で30万円に就業加算して10万円・単身世帯は2件で10万円・移住就職応援支援金は8件で200万円。

移住定住のきっかけとなり、若年層の呼び込みはまちの活性化につながると考えています。

問 こども誰でも通園制度は保護者の就労要件を問わず、一定の条件のもと、子どもを保育施設等に預けることができる制度。現在までの利用状況と、利用者からどのような声が届いているのか。

答 ふたば園で実施し、8月末時点で8人利用。その延べ利用回数は50回。

同年代の子どもと遊ぶ機会が持てることがうれしい、保護者が自分の時間を持つことでリフレッシュができた。とのお声をいただいています。

問 地域団体「とよのわ」による図書館を活用した「夏の教室ｉｎ図書館」の利用状況は。

答 教室の開催は21日間、参加人数は延べ442人で、そのうち子どもの参加人数は203名と、全体の約46%です。

問 このような、まちにあるさまざまな資源を活用して、子どもの居場所を増やしていけないのか。

答 開催時期や期間、運営方法について検討する必要があります。



長期休み期間の子どもの居場所

安心と稼ぐ力を高める町政を



寺脇　なお子

高齢者も安心できるスポーツ広場へ

問　高齢化が進む本町において、バリアフリー対策は必須である。希望ケ丘スポーツ広場の進入口に手すりを設置できるかどうか調査する必要があるが、どのように考えているのか。

答　敷地内に希望ケ丘の自治会館が併設されていることから、今後のバリアフリー化について、まずは自治会の方とも必要性についてお聞きしたい。

光風台の管理不全空き家の対応について

問　光風台の空き家について、これまでの行政対応の経過を伺う。

答　相続人の特定を行い、納税管理人以外の別の相続人に対するアプローチを試みているところです。

豊能町の稼ぐ力とふるさと納税について

問　ふるさと納税について年間の寄付額と寄付件数について伺う。

答　令和7年度のふるさと納税の寄付額は、1069万4100円で、寄付件数は367件です。

問　太子町のふるさと納税は、令和6年度3076件、約2億7431万円。府内市町村の成功事例を研究し、明確な目標として「豊能町ふるさと納税1億円プロジェクト」を立ち上げてはどうか。

答　新たな返礼品の開発を進め、返礼品のラインナップを増やしていくことにより、寄付額の増加に取り組んでいきたいと思っています。



手すり設置で安全な広場へ

豊能町ホームページの利便性向上



西　みえ

豊能町ホームページやりづらいスマホ検索

問　スマホで町のホームページを閲覧した際、検索結果の画面から先はパソコン版と同様のレイアウトがそのまま表示され、目的の情報にたどり着きにくい構造となっている。町の認識を伺う。

答　一部のページで表示がパソコンの仕様になっており、画面が見にくく、情報が探しにくい状況となっています。誰にとっても情報が見やすく、探しやすいホームページの作成を目指します。

これまでの改善の取組について

問　契約期間は令和9年3月までとのことだが、その後の検討状況は。

答　令和7年8月にトップページの分類を再編し、配置やデザインを見直し改善しました。今年度は、ウェブアクセシビリティに対応したページの修正を約2000ページを対象に、年度末までに順次行う予定です。

豊能町でのAI検索の導入余地は

問　東京都北区や江戸川区ではAIサイト内検索を導入し、検索利用率や到達率が向上した事例がある。本町での検討は。

答　業務の効率化が期待されることは有効と考えるが、費用対効果やセキュリティ、不正確な情報の生成がされないかなどの観点から、直ちに導入することは難しいです。

　他自治体の事例や費用対効果など注視し、当面は現行の検索機能を利用した既存の枠組みの中で改善に努めます。



スマホ版ホームページのトップ画像

生活環境改善と防災対策の強化



林　かずとし

新光風台地域におけるごみ収集について

問 新光風台を「モデル地区」として戸別収集の実証実験を実施できないのか。

答 町としては、ごみ出しが困難な高齢者や障害者の方々への支援について、特定の地区全体を一律に戸別化する手法ではなく、全町を対象として個別の困りごとに着目した支援制度（ふれあい収集等）のあり方について検討することが、公平かつ現実的なアプローチであると考えています。

問 住み続けられる豊能町に向けて、全域のごみ戸別収集を考えるべきではないのか。

答 町としては、今後とも国や他自治体の動向、費用対効果などを研究しつつ、ごみ出しにお困りの高齢者・障害者等に対する個別の支援施策の実現に向け、持続可能で現実的な対応策を模索したいと考えています。



ステーション方式から戸別収集へ

トイレカー導入について

問 発災時における「陸の孤島化リスク」と移動式トイレ（軽トラ型等）の有効性について検討したことがあるのか。

答 トイレカーについては、孤立する可能性のある地域や小規模避難所への対応を含め、車両の大きさや性能、必要台数、導入維持管理費、災害時の運用体制などを踏まえ、既存のトイレ対策を補完する手段の一つとして研究していきたいと考えています。

西学園グラウンドで夏祭りを



中川　あつし

とよの西学園で夏祭りの開催を

問 ふれあい広場は今後、公共施設再編のエリアとなる予定。現在、東ときわ台と、ときわ台が合同で夏祭りを実施している。

近い将来、夏祭りの場所がなくなるが、ふれあい広場の代替場所はどのように考えているのか。

答 ふれあい広場は約1万平米あるため、今後、同程度の広場を設置することは困難と思われます。

問 東ときわ台と、ときわ台の夏祭りで、とよの西学園のグラウンドなどは利用できないのか。

答 学校の運営に支障をきたさない範囲であると教育委員会（校長）が判断した場合、申請に基づき使用許可することができると考えています。



とよの西学園

認定地域クラブの活動費補助制度の導入を

問 クラブ活動の地域移行化が進むが、各学校のクラブ活動の状況は。

答 現在の認定地域クラブは5つで、内訳は、東学園が男子バスケット部、西学園は陸上部、女子バスケット部、軟式テニス部、バドミントン部です。

問 苫小牧市では、認定地域クラブ活動費補助制度を実施している。また、箕面市では、地域クラブに参加し支払った費用の補助を実施している。豊能町でも今後を見据えて導入してはどうか。

答 全国的に地域展開が進むよう国は、部活動の地域展開等推進事業で自治体へ支援を行っています。本町も補助金の交付を受けている近隣自治体を参考にして、この事業を活用していきます。

自然災害に対する防災体制の見直しを



池田　忠史

地震等の災害対策について

問　直下型地震によって町の行政機能が大きく損なわれる事態をどの程度想定しているのか。

答　有馬高槻構造線と南海トラフによる地震を想定し、災害対策本部となる役場本庁については、非構造部材を含む耐震化、あるいは不燃化自家発電設備等の整備など防災機能向上を図ることとしています。

問　地域防災計画、業務継続計画、受援計画など防災に関する計画を一体的に見直しする必要があると思うが。

答　地域防災計画の更新については、一定期間更新できていない状況です。

　今年度計画の更新をしたいと思っており、作業を進めています。但し、業務継続計画あるいは受援計画も同時に更新できるものであるかどうかは、今後検討をしていきたいと思っています。

問　同時被災を考慮して遠隔地の自治体とも協定を締結することが大規模災害に有効であると思うが、どうか。

答　大規模災害時には近隣自治体が同時に被災し、相互応援が十分に機能しない可能性があり、同時被災の可能性が低い遠隔地との連携についても一つの手段であるとは認識しています。

　一方、遠隔地の自治体と相互応援協定を締結した場合、相手方が被災した際、本町から職員を長期間にわたって派遣するという状況があり、町内の業務運営との両立という課題があります。



防災訓練での自衛隊の炊き出し

若年女性人口動態と消滅可能性自治体



小寺　正人

消滅可能性自治体とは

問　平成26年5月に日本創生会議（増田寛也座長）が消滅可能性リストを発表して10年が経過した。

　その分析手法は、20歳から39歳の女性人口（若年女性人口）の将来動向に着目して、この若年女性人口が減少し続けて総人口の減少に歯止めがかからなければ、30年間で50％以上のスピードで急減する自治体は70年後には20％となる。100年後には10％程度まで減少して、最終的に消滅する可能性が高く、消滅可能性自治体としている。

　豊能町は、そのグループの中でも構造的にとても深刻な23自治体の中に属している。自然減対策が極めて必要、社会減対策が極めて必要とされるグループに分類されている。与件の下で戦うことが必要である。

答　令和6年に人口戦略会議が公表した地方自治体持続可能性分析レポートで豊能町が消滅可能性自治体で、構造的に深刻な自治体に分類されたとのことですが、全国一律の方程式で出てきた答えだと感じます。

　住宅流通、移住就職支援や子育て支援などいろいろな施策に取り組んできました。

　特効薬はないと思いますが、総合まちづくり計画にある人口1万5000人を何とかキープしていきたいと考えています。

自治体の人口特性別９分類（自然減対策と社会減対策）

対鎖人口 / 移動仮定	減少率 20％未満	減少率 20～50％	減少率 50％以上
減少率 20％未満	A 自立持続可能性	D－① 自然減対策：必要	B－① 自然減対策：極めて必要
減少率 20～50％	D－② 社会減対策：必要	D－③ 自然減対策：必要 社会減対策：必要	B－② 自然減対策：極めて必要
減少率 50％以上	C－① 社会減対策 ：極めて必要	C－② 自然減対策：必要 社会減対策：極めて必要	C－③ 自然減対策：極めて必要 社会減対策：極めて必要

※縦軸・横軸の減少率は 若年女性（20～39歳）の減少率

自治体の人口特性別９分類

大阪府町村議長会 議員セミナー シティプラザ大阪

地方議会の「いま」と「未来」を考える

講師　大山礼子氏

8月20日

人口減少や少子高齢化財政制約が進む中、地方議会が住民の声を吸い上げ、行政をチェックし、政策形成に関わる重要性が高まっています。

第33次地方制度調査会答申（令和4年12月）では、議会の役割として①多様な住民の声の代表②住民意見の審議反映③住民との情報共有の3点が示されました。

一方、議員のなり手不足や、議会活動が住民に見えにくいことが課題に挙げられました。

町村議会議員は、女性比率13・6％、60代以上が過半数を占めます。

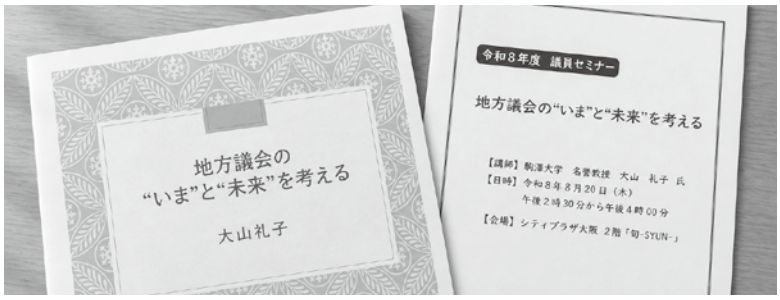
改革の方向として、立候補年齢の引き下げ（現行25歳）、休職制度の整備、供託金見直し、ハラスメント防止体制の整備が提言されました。

令和4年、全国初の議会関係ハラスメント防止条例を制定した福岡県議会の事例も紹介されました。

大阪府議会でも令和5年3月、府内全ての地方議会に関するハラスメント根絶を目指す条例を制定し、府議会議員だけでなく府内市町村議会議員や候補者も利用できる専門相談窓口を開設しています。電話・メール・面談による相談に加え、弁護士等の専門家が対応する体制が整えられており、府内の一部市議会では独自のハラスメント防止条例を制定する動きも進んでいます。

大山氏は、議員のなり手不足、住民との距離、ハラスメントという課題は、多様な人材が安心して議会に参画できる環境づくりに集約されます。

立候補環境の整備やデジタル化への対応、ハラスメント防止体制の構築に、各議会が主体的に取り組んでいくことが求められると述べました。



町村議会広報研修会 「読んでもらえる議会広報」を学ぶ

8月28日
LINE CUBE SHIBUYA（東京都渋谷区）

奈良県王寺町では、議会広報紙を「議会の報告書」から「町民に読んでもらえる広報紙」へとリニューアルしました。

「手に取りたくなる雑誌感」をコンセプトに、文字を減らして写真を増やす、見出しを分かりやすくする、余白をつくるなど、デザインやレイアウトを工夫しています。

また、行政用語や議会用語をそのまま使うのではなく、中学生でも分かるような言葉に言い換えたり、必要に応じて解説を加えたりしています。

特に印象的だったのは「脱・報告書」という考え方です。

議会で審議したことをすべて同じように掲載するのではなく、町民の関心が高いテーマには重点を置き、メリハリをつける。さらに、議員のコメントなどを掲載し、議員の人柄や考え方も伝える工夫がされていました。

その結果、令和4年度の住民アンケートでは、広報紙を読む人が約90％になったそうです。

今回の研修を通して、議会広報は単に「議会で何があったか」を伝えるだけではなく、町民に議会を知ってもらい、関心を持ってもらうための大切なツールだと改めて感じました。

豊能町議会の広報誌も、まずは「ちょっと読んでみよう」と思ってもらえることが大切です。

今回学んだことを広報委員会で共有し、町民の皆さまにとって、より身近で分かりやすい議会広報につなげていきたいと思います。

髙野　光一
内田　香織



大阪府議会との意見交換会における要望

豊能町議会は、7月23日、大阪府議会との「大阪府基礎自治機能の充実強化に関する意見交換会」に出席し、町だけでは解決の難しい人口増加策をはじめ地域交通・外国人住民との共生・情報発信・自治体の将来像・水道事業などの課題について、府域全体で取り組むことを要望しました。

大阪府全体としての人口増加策

大阪府全体の人口が減少している現状での府内市町村の人口増加策は、人口の奪い合いでしかありません。大阪府として府外から人や企業を呼び込む施策の実施を。

ライドシェアによる地域交通の確保

運転手不足によるバスの減便・廃止は、地方の暮らしに大きな影響を及ぼします。既存の公共交通を維持しながら、新たな移動手段を確保するため、一定の安全基準や研修を前提に、個人が参加できるライドシェアの規制緩和を国に求めるとともに、豊能町を実証実験の地域とすることを要望しました。

外国人住民との多文化共生

地方にも外国人住民が増加することが予想される中、生活ルールを伝えるだけでなく、お互いの文化や価値観を理解し、ともに地域をつくることが重要です。日本語教育、地域交流、防災学習などを支える専門人材の配置や財政支援を。

町村の情報発信力の強化

町村は情報発信の予算や人材が限られています。ホームページやSNS、動画などを効果的に活用するため、専門人材の派遣や広告宣伝費への財政支援を。

将来を見据えた自治体の枠組み

人口減少や社会環境の変化を踏まえ、現在の市町村の枠組みを将来も維持できるのかを考える必要があります。道州制や市町村合併なども含め、将来の自治体の規模や役割について、国と連携して具体的な将来像を示すことを要望しました。

府域一水道の実現

水道施設の老朽化、人口減少、専門職員不足などを踏まえ、大阪市を含む「府域一水道」の実現に向け、これまで以上に関係自治体との協議をさらに進めるよう要望しました。

今回の要望は、それぞれ別々の課題ではありません。人口減少社会を迎える中、町村だけでなく、大阪府、さらには国と連携し、広域的・長期的な視点で解決策を考えることが必要です。

大阪広域水道企業団議会　7月臨時会　7月28日（火）

議長選挙と副議長選挙が行われました。

議長に寺島　誠議員（高石市）　副議長に山本　一徳議員(豊中市)

猪名川流域広域ごみ処理施設組合議会 第2回定例会報告 8月7日（金）

＜主な議案＞

●令和７年度歳入歳出決算認定について

歳　入　　22億8,587万9156円　　歳　出　　22億 584万5371円

豊能町の負担金は、1市3町負担金の7.98%にあたる1億3,015万1000円です。（賛成多数　認定）

豊能郡環境施設組合議会　第3回定例会　8月26日（水）

＜主な議案＞

●工事請負契約の一部変更

廃棄物管理施設設置工事について、契約金額を3億4,231万100円から3億3,223万8,500円に変更し、1,007万1,600円を減額。工事で発注した建設残土を、大阪府のほ場整備事業及び豊能町の企業誘致事業で受け入れることとなり、運搬費・処分費が不要となったことによるもの。　（全員賛成　可決）

●公平委員の選任同意　北畑利一さんを引き続き公平委員に選任することに同意。（全員賛成　同意）



公共交通維持・確保にむけて

利用者の減少、運転手の担い手不足などから地域公共交通が相次いで減便や廃線となり、5月開催の議会報告会でも、参加者から多くの意見が寄せられました。

議会は、地域公共交通の維持・確保にむけて、3月定例会議で交通特別委員会を設置し、第2回交通特別委員会において「交通事業者への陳情・要望」「地域交通施策の調査・研究」など、今後、取り組むべき協議事項を決定しました。

また、町は、現在、廃止されたバス路線に代わって、定時定路線バスの実証運行に取り組み、阪急路線バスとデマンドタクシーについても「お試し乗車券」を、広報とよの9月号に折り込み、全戸配布しています。

いずれも利用期間は、12月28日までとなっています。

地域公共交通は、住民が利用しなければ維持することができません。

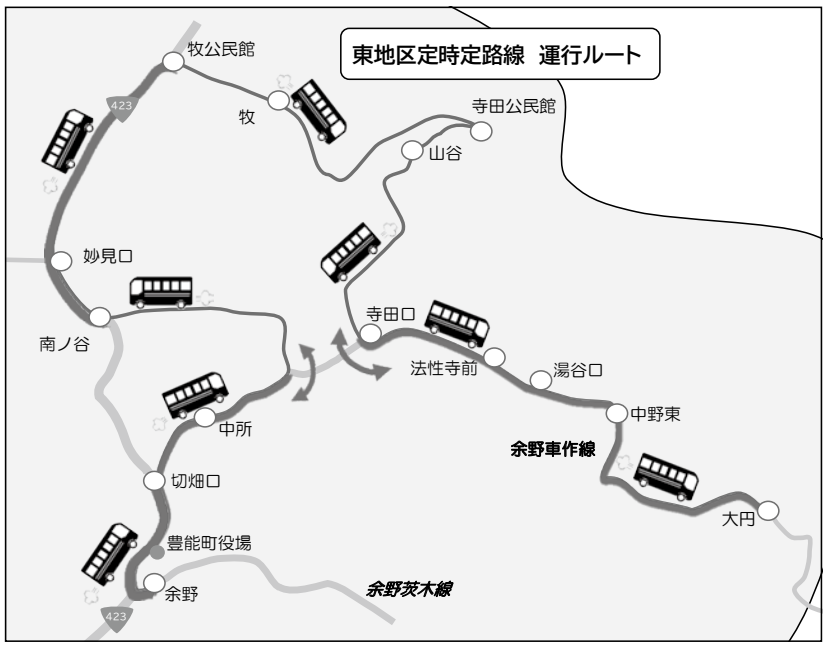
ぜひ、この機会に三種三様の地域公共交通をご利用ください。

東地区 定時定路線バス 実証運行中！

令和8年10月1日～12月28日

定時定路線バスは、昨春、阪急バスが路線バスを廃止したことから、町が、地域の利便性の向上、移動需要を検証するために実証運行しているもので、デマンドタクシーと異なり事前予約を必要としません。

路線バスと同じく下記の停留所で発車時刻を待ちます。



●大人200円
●小人100円
★平日のみ運行
★一便3人、一日21人の利用を目標としています。ぜひ、ご利用してください。
★時刻表など詳しくは町のホームページに掲載されています。

定時定路線

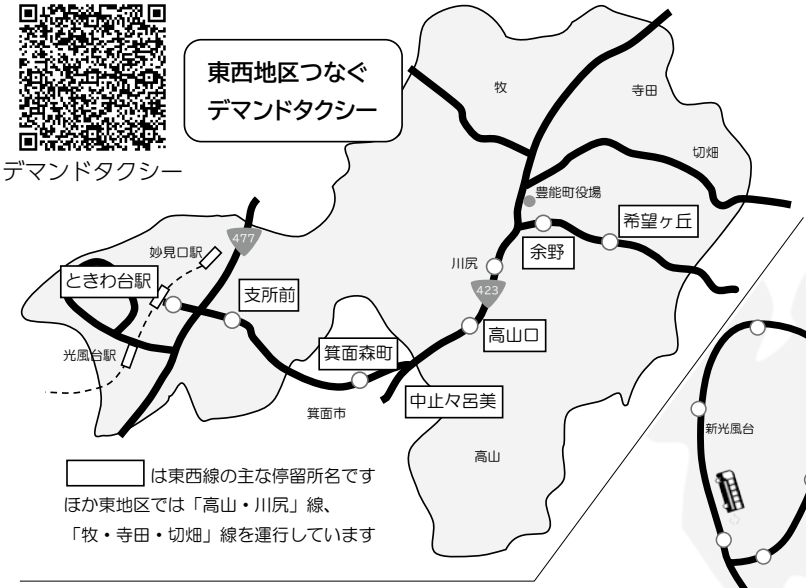
豊能町デマンドタクシー 京都タクシーの 協力を得て運行

「デマンドタクシー」は、タクシーとバスの利点を合わせた交通手段で、乗降できる停留所が決まっており、事前に予約する必要があります。

ルートは、ときわ台駅から箕面森町・余野・希望ケ丘へとつながる東西線、ほか東地区では川尻・高山線、牧・寺田・切畑線となっています。

★ルート・停留所・予約受付時間・時刻表など詳しくは町のホームページに掲載されています。

デマンドタクシー

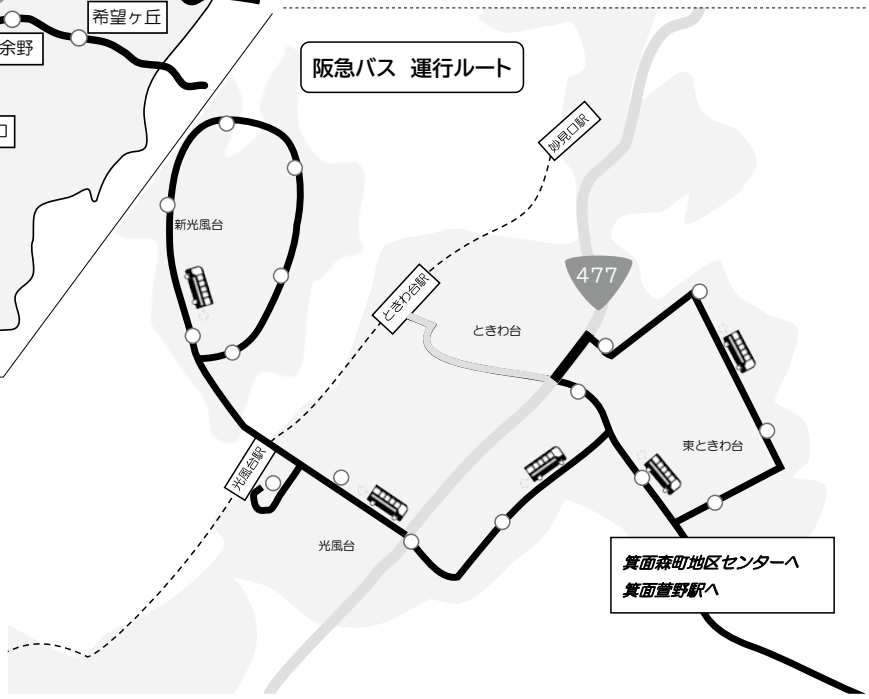


阪急バス　デマンドタクシー

「お試し乗車券」 ご利用されましたか

- 「デマンドタクシーお試し乗車券」
  ２５０円分×２枚
- 「阪急バス豊能地域限定お試し乗車券×２枚」

とよの広報９月号の折り込みで配布されています。
利用期間は 12 月 28 日までとなっています。
デマンドタクシー、阪急バスに馴染みのない方、この機会に、ぜひ、ご利用ください。



第2回 交通特別委員会

９月17日開会
委員６名出席

今後の協議事項について、前回、具体的な内容にまで至らなかったが、今回協議事項として

1能勢電鉄に通勤通学時間帯の直通便の要望
2阪急バスに通勤通学時間帯の増便・ダイヤ変更の要望
3住民の皆さまのニーズを把握するためのアンケート調査
4公共交通や、各民間施設の送迎バスなど、町内で運用されている交通の把握
5デマンドタクシーの運行時間等の検討

とすることにしました。

この協議事項以外にも、協議する必要があると思われる課題が出てきた場合には、随時、委員から提案してもらい協議していくこととしました。

住民の皆さまの移動手段の確保は喫緊の課題であり、持続可能な交通の実現に向け当委員会で協議を進めてまいります。

ときわ台駅前に有料駐車場を設置 来年オープン

能勢電鉄ときわ台駅近くに、長い間、活用されていない旧水道施設跡地があります。

町は、この土地を有料駐車場として活用することにし、現在、来年2月のオープンをめざして準備を進めています。

駐車台数は30台程度。うち月極10台、時間貸し20台を予定しています。

能勢電車への利便性、また、ときわ台駅前の活性化が期待されます。



とよの地域手帳 シリーズ No.1

とよの舞スターズ　～地域文化の灯を盆踊りで～

元気に踊るぞ～ オ～

とよの舞スターズは最高だ～ オ～

踊る前に円陣を組み　最後にまた円陣を組み

これがルールである。この円陣でチームの団結・結束力・心がひとつになれるのです。

豊能町観光協会の事業（令和６年）のひとつとして、地域のにぎわい・活性を盆踊りでつくろうから始まった。スポーツセンターシートスの柔道室を借り、７回の盆踊り稽古が始まる。踊りの指導は森田昭子先生、その門下生（豊扇会）の先生にお願いする。豊能町の広報誌・掲示板を見てスタート時 19 名のいい顔がそろった。物忘れ「あれ…」「これ…」便利な言葉の世代の仲間たち。人生に遅すぎることはない。地域文化継承の灯がともった。炭坑節、河内音頭、とよの SC 音頭の稽古（７回）。地域デビューは光風台地区の夏祭りから。とよのんオレンジＴシャツを着て最高の舞台で大パフォーマンス。壮観だ。よく目立つ。皆踊るエンジンが始動する。



このようにして、ときわ台・東ときわ台地区の夏祭り、吉川自治会へと続く。最終の盆踊りの時、来年もこのメンバーで踊りたいね！豊能町の地域活性化の一つになれるよ…との声が上がる。即決、豊能町観光協会の協力会員として旗揚げしよう。３０名が集まってくれた。



名称『とよの舞スターズ』の誕生です。発足して２年目に入ったところですが会員数５８名の大所帯。

会のコンセプトは「地域のにぎわい作り」「伝承文化の継承」です。

踊って笑って若返り、幸福寿命が延びますよ。…きっと。　上山　秀雄

とよの地域手帳では今後、地域の活性化に取り組む人たちを取り上げていく予定です

令和8年熊本地震 被災地に義援金送金

7月28日に発生した熊本地震で多くの被災者がでている被災地に豊能町議会議員全員から集めた15万円を熊本県に8月18日付で送金しました。

マチイロ

スマートフォンで手軽に「議会だより」を読んでいただけます

マチイロホームページ

インターネットによるライブ・録画配信



豊能町議会では、本会議・一般質問・常任委員会・議会運営委員会・特別委員会もインターネットによるライブ・録画配信をしています。

令和８年12月　定例会議予定

12 月7日(月)9:30～　定例会議開会
12 月8日(火)9:30～　本会議(一般質問)
12 月9日(水)9:30～　本会議(一般質問)

編集後記

東西に開校した義務教育学校の運動会、体育大会。雨続きの日があり練習も大変だったと思います。子ども達の頑張りを見せていただき、元気な姿に感動いたしました。

さて、町議会議員選挙から１年が経ちました。

議会だよりの編集には新人議員４人が奮闘しています。今年度から表紙をリニューアル。今後も議会をより身近に感じていただけるように取り組んでまいります。

「ちょっと読んでみよう」とページをめくっていただければ幸いです。（管野）

広報特別委員会
委員長　管野英美子
副委員長　秋元美智子
委員　西　美江
内田香織
林　和利
髙野　光一

この広報誌は、議員６名で延べ５日間編集作業を行い、8,700 部作成。１部あたりの単価は 24.09 円、配達に 12 円かかっています。